

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370301026
事業所名	グループホーム 水草

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2) コロナ禍で、地域との積極的な交流は難しい状況が続いている。現在は、挨拶程度の交流を継続している。コロナ禍以前は、地域行事に参加したり、近隣スーパーやホームセンターで買い物をしたりと、日常的な交流があった。また、認知症カフェ開催等で、ホームからの情報発信も行っていた。コロナ終息後の再開が待たれる。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3) この1年は、4月・6月の会議を対面で開催することができている。コロナ感染拡大で、会議開催が難しい場合は、事前に意見や提案、情報等を募り、ホームの運営報告と併せて議事録を作成し、書面開催としている。運営推進会議に寄せられる意見や提案、情報等には真摯に向き合い、ホーム運営に活かしている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4) 市の担当部署とは、ホームの運営に関する報告や相談を通じ、適切に連携している。地域包括支援センターとは、変わらずの連携の継続がある。現在は休止になっている認知症カフェについても、地域包括支援センター主催の認知症検討会の継続があり、2ヶ月毎のZoomで会議での意見交換に参加している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6) コロナ禍で、家族会の開催やサービス担当者会議、対面での運営推進会議等、自粛を余儀なくされている状況は変わらない。家族の意向や要望に応え、コロナ感染状況を見ながら、フロア玄関での面会を行っている。家族のホーム来訪時、電話連絡の機会には、管理者からの積極的な声掛けで、直接の意見や提案、意向の聞き取りに努めている。聞き取った意見は、運営者、職員と内容を協議し、ホーム運営に反映させている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

【備考欄】

<p>コロナ禍で、感染状況を考慮し、開催方法を決定している。この1年は、4月・6月の対面会議ができている。会議開催が難しい場合は、書面開催としている。</p>

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								